

MAJESTIC RENAISSANCE ARCHITECTURE

ミケランジェロ・ブナローティ「ルネサンス建築」図書館 閲覧室から名聞室の扉口案 1526年頃、カーサ・ブナローティ蔵
© Associazione Culturale Michelangioli e Fondazione Casa Buonarroti



天才なる者を信じない人、天才とはどんなものかを知らない人は、
ミケランジェロを見るがいい。

(ミケランジェロ・ブナローティの生涯) 高田博厚訳 岩波書店

The GENIUS of MICHELANGELO

日伊国交樹立150周年記念

ミケランジェロ展

ルネサンス建築の至宝

開館時間：午前10時～午後6時
(ご入館は午後5時30分まで)

休館日：水曜日

夏期休館：8月12日～8月18日



2016.6.25 SAT - 8.28 SUN

入館料：一般 1000円、65歳以上 900円、大学生 700円、中・高校生 500円、小学生以下無料
※障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

主催：パナソニック 汐留ミュージアム、日本テレビ放送網株式会社／後援：イタリア大使館、イタリア文化会館、
一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会、港区教育委員会／協力：アリタリアーイタリア航空、
日本通運、モンテノービ／学術協力：カーサ・ブナローティ、メタモルフォジ財団／企画協力：アートプランニングレイ

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留ミュージアム

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
公式サイト：http://panasonic.co.jp/es/museum
お問い合わせ：03-5777-8600(NTTハローダイヤル)

ミケランジェロ展 ルネサンス建築の至宝

イタリア・ルネサンスの巨匠ミケランジェロ・ブオナローティ（1475-1564）は、彫刻、絵画、建築という視覚芸術の3つの領域において、他の追随をゆるさぬ卓越した人体表現と深い精神性を示しました。人々は彼を「神のごときミケランジェロ」と称えました。

ダヴィデ像に代表されるような、石の塊のなかから彫り出された完璧なまでの造形、そしてヴァチカン宮殿のなかのシスティーナ礼拝堂に描いた史上最大の天井画は、まさに超人技といえましょう。

その葛藤に満ちた活躍の舞台となったフィレンツェとローマには彼が手がけた建築が、今も都市の景観を形作っています。フィレンツェのサン・ロレンツォ聖堂新聖具室や附属のラウレンツィアーナ図書館、ローマのカンピドリオ広場やサン・ピエトロ大聖堂ドームの設計の仕事には、同時代の人々を驚嘆させた、新しい装飾の表現形式や空間の取り扱いが不滅の輝きを放っています。

本展はカーサ・ブオナローティの所蔵する作品を中心に、ミケランジェロ本人による真筆の素描および書簡約35点を含めた作品およそ70点を展覧いたします。加えて建築模型や写真、映像も用いながらミケランジェロの建築に光をあてます。そして、特別コーナーでは日本を代表する建築家たちが、この巨匠に寄せた畏敬の念を、400年後に自らの作品のなかでどのように展開したかごらんいただきます。



1



2



3



4



5

6

関連イベント

聴講は無料ですが、本展の観覧券と予約が必要です。

講演会① ミケランジェロの建築に見る古代との闘い

古代を超越したといわれるミケランジェロ。当時、建築の分野における古代の権威とは、古代遺跡やウィトルウィウスの『建築十書』であった。どのようにすれば古代を凌駕したといえるのか、建築のオーダーに着目しながら検討してみたい。

●講師：飛ヶ谷潤一郎（東北大学大学院工学研究科准教授）

●日時：7月2日（土）午後1時30分～午後3時（開場午後1時） ●会場：当ビル5階ホール ●定員：150名（要予約）

講演会② 万能の天才「神のごときミケランジェロ」

レオナルドにせよラファエロにせよ、彫刻、絵画、建築も手がけるルネサンス期イタリアに特有の「万能の天才」であった。ミケランジェロはその時代の最後の天才といえよう。西洋美術史の大家が、その創造的な成果をあらためて見直す。

●講師：高階秀爾（大原美術館館長、公益財団法人西洋美術振興財団理事長、東京大学名誉教授）

●日時：7月16日（土）午後1時30分～午後3時（開場12時30分） ●会場：当ビル5階ホール ●定員：250名（要予約）

ご予約・申し込み方法	ハローダイヤル03-5777-8600へお電話にてお申込ください。4月18日（月）より受付開始（受付時間 8:00-22:00） 必要事項：①イベント名 ②参加人数（一度にお申し込み頂ける人数は2名まで） ③氏名（要全参加希望者） ④住所 ⑤電話番号 ※簡単なアンケートにご協力いただきます。※受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。※お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用します。なお、お預かりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。※定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。※未就学児はご遠慮ください。
------------	---

学芸員によるギャラリートーク：7月10日（日）、7月22日（金）、7月30日（土） 各午後2時～ 予約不要、参加無料（本展の観覧券が必要です）

次回予告：島根県立石見美術館コレクション モードとインテリアの20世紀 2016年9月17日（土）～11月23日（水・祝）

Shiodome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック
汐留ミュージアム

〒105-8301 東京都港区東新橋 1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ：03-5777-8600（NTTハローダイヤル）
公式サイト：http://panasonic.co.jp/es/museum
交通のご案内：JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

1. マルチェッロ・ヴェスチに帰属《ミケランジェロの肖像》1535年以降、カーサ・ブオナローティ蔵
2. ミケランジェロ・ブオナローティ《システィーナ礼拝堂天井画〈クマエの巫女〉のための頭部習作》1508-1510年頃、トリノ王立図書館蔵 ©Torino, Biblioteca Reale
3. ミケランジェロ・ブオナローティ《背を向けてひざまずく男性裸体像習作》1540年頃、カーサ・ブオナローティ蔵
4. ミケランジェロ・ブオナローティ、サン・ロレンツォ聖堂新聖具室、フィレンツェ、1520-1534年
5. ミケランジェロ・ブオナローティ《サン・ジョヴァンニ・ディ・フィオレンティーニ聖堂計画案》1559年頃、カーサ・ブオナローティ蔵
6. ミケランジェロ・ブオナローティ《サン・ロレンツォ聖堂ファサード計画における壁がんとその両側の円柱の立面案》（部分）、カーサ・ブオナローティ蔵

1.3.5.6 ©Associazione Culturale Metamorfosi and Fondazione Casa Buonarroti

なお、ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧下さい。

